

## 7・8・9月の子ども劇場

■■■■ お休み ※7/12・7/13は臨時休館

### 7月

日	月	火	水	木	金	土
*	*	*	*	*	1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31	*	*	*	*	*	*

#### えいが会

『がんばれスイミー』  
『ミッキーマウス』ほか

7/23(土)10:30~11:30

#### おはなし会

『くもとります』

『くんちゃんのもりのキャンプ』ほか

7/24(日)11:00~11:30

#### 人形劇

『ばばあちゃんのすいかのたね』

7/31(日)11:00~11:30



### 8月

日	月	火	水	木	金	土
*	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31	*	*	*

#### トーンチャイム

『なついろコンサート  
~チャイム de ジブリ~』

8/6(土)11:00~11:30

#### おはなし会

『浦島太郎』ほか

8/28(日)11:00~11:30

**子ども劇場スタンプカード**  
子ども劇場の行事に参加すると、  
スタンプカードがもらえるよ！  
スタンプが5つたまると  
お楽しみがあります。  
くわしくはとしょかんまで♪



### 9月

日	月	火	水	木	金	土
*	*	*	*	1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	*

#### 人形劇

『三びきのこぶた』

9/18(日)11:00~11:30



#### おはなし会

『ねずみの国』

『ちいさなねこ』ほか

9/25(日)11:00~11:30



7/17(日)より どくしょきろくちょう  
「読書記録帳」スタート！

- 発行した当日から、借りた本のタイトルや貸出日を記録できます。
- 相生市立図書館の貸出カードを持っている人ならだれでも作ることができます。

★自分のお気に入りの本を記録しよう♪



#### 開館時間

- あさ9:00~よる7:00

#### 図書館からのおねがい

- 図書館に来るときは、検温、手指の消毒、マスクの着用をお願いします。
- 体調が悪い人は、行事に参加できません。

## 夏におすすめの本

### 『サステナブル・ビーチ』 小手鞠るい・作 カシワイ・絵 // さ・え・ら書房 // 91-コ

しょうがくせいさいごのなつやすみです。なつやすみといえば、しゆくだいなに て 宿題。何から手をつけようか・・・。  
なんにもやる気がでない男の子が、ある日、旅行で出かけたハワイの海で、ひとり  
の少女と出会い、ある約束をします。  
だれもが感動する、美しい海。生きものたちもすみやすい海を守るために、でき  
ることって何だろう？



### 『きょうがはじまる』 ジュリー・モースタッド・作 石津ちひろ・訳 // BL 出版 // P-モ

さあ、きょうはなにをしよう？家でじっとしているのももったいないよね。  
どこへ行く？だれと遊ぶ？  
せっかくだから、とびきりのおしゃれをして出かけよう！  
きょうを楽しみに目覚め、あしたを楽しみに眠る。毎日、自分だけの特別な一日を  
すごしたいですね♪  
読めば読むほど、あしたが待ち遠しくなりますよ。この夏は、何する？



### 『秘密の島のニム』 ウェンディー・オルー・著 田中亚希子・訳 // あすなろ書房 // 93-オ

ちずにもものらないちいしまたおんなこ、ニム。ちちジャックとふたり  
生活しています。ニムは、島でのくらしがとても好きでした。  
ある日、留守番をしていると、パソコンにメールが届きました。相手はなんと、  
ニムの大好きなぼうけんしょうせつか冒険小説家でした。  
ひょうしうみうつく美しい海と、ストーリーにも引き込まれます。  
とっても勇かな、ぼうけんものがたり冒険の物語です。



### 『木のすきなケイトさん 砂漠を緑の町にかえた ある女の子のおはなし』

H.ジョゼフ・ホプキンス・文 ジル・マケルマリー・絵 池本佐恵子・訳 // BL 出版 // P-ホ

しゅじんこうのケイトは、もりなかあそぶのが大好きです。空に向かってのびる大きな木を、友だちのよう  
に思っていました。ケイトは、かがくべんきょうなにだいすきで、だいがくべんきょう  
大学を卒業して、はたらきに出たケイトは、おどろきました。そこは、さばくまち  
ケイトは、ここもきっと、みどりいっぱい町になると信じていました。ほんとうにあつたお話を。  
ケイトは、ここもきっと、緑いっぱい町になると信じていました。本当にあつたお話です。

## いま、考えてみよう

### 『どうぶつ会議』

エーリヒ・ケストナー・作 W.トリヤー・絵 光吉夏弥・訳 // 岩波書店 // 小型 P-ケ

だいにじせかいたいせんおあとせかいひとひとせかいへいわぎろん  
「第二次世界大戦」が終わった後の世界。人々はこれからの世界の平和を守るため、議論をくりか

えています。しかし、なかなか前に進みません。そのニュースを見た動物たちは、あきれて、自分たちで会議をひらこうと動き出します。しかし、そうかんたんにはいかないようで・・・。  
世界じゅうの動物たちによる会議は、はたしてまとまるのでしょうか？

## 『バスラの図書館員 イラクで本当にあった話』

ジャネット・ウィンター・絵と文 長田弘・訳//晶文社//01

イラクでいちばん大きな港町、「バスラ」のとある図書館に、アリアさんという女性がいました。図書館では、本を愛する人たちと、世界でおこる問題について話しあっていました。最近の話題は、戦争のことばかり。アリアさんは、大切な本を守るため、みずからある行動にでます。戦争はやがてバスラの町にも・・・。図書館の本は、どうなったのでしょうか？

## 『ラクダのまつげはながいんだよ 日本の子どもたちが詩でえがいた地球』

長田弘・編著//講談社//91

世界のどこかの国でくらす、日本の子どもたちの詩集です。それぞれの土地で目にした光景や生活の中で感じたことなど、一人ひとりの素直な思いが書かれています。  
詩人・長田弘さんのあたたかいコメントも添えられています。

## ほかにもあるよ！おすすめの本

### 『おてんばヨリーとひげおじさん』

アニー・M.G.シュミット・作 フィーブ・ヴェステンドルフ・絵 西村由美・訳//岩波書店//94-シ

“ひげおじさん”というのは、列車の車掌さんのこと。とってもすてきなひげがあるので、みんなからそう呼ばれていました。今日は、あたらしい特急列車がはじめて走る日です。ひげおじさんは、この列車に乗らなければなりません。  
さあ、いよいよ発車！というとき、小さな女の子が「列車の下に動物がいるの！」とさげびました。ひげおじさんはおどろいて・・・。

### 『ピトゥスの動物園』

サバステア・スリバス・著 宇野和美・訳 スギヤマカナヨ・絵//あすなろ書房//96-ス

スペイン・バルセロナの下町にすむ、なかよし6人組。しっかり者の男の子、10歳のタネットがグループのリーダーです。いちばん年下のピトゥスは、みんなに可愛がられています。  
ある日のこと、ピトゥスがとてもむずかしい病気にかかってしまいました。とつぜんのこと、みんなはびっくり。5人は、ピトゥスのために何かできないかと考えます。  
そこで思いついたのが・・・。  
みんなの友情があふれるお話です。



## 『ルーミーとオリーブの特別な 10 か月』

ジョン・バウアー・著 杉田七重・訳//小学館//93-バ

両親を亡くした12歳の少女オリーブ。ある日、自分に姉がいたことを知り、姉との生活がはじまりました。

しばらくして、オリーブは盲導犬の子犬「ルーミー」を育てることに。オリーブはまわりの人に助けられながら、ルーミーがりっぱな盲導犬として自立できるよう、“パピーウォーカー”として一生けんめいはたらきます。ルーミーとオリーブの成長と、家族愛も伝わってくる物語です。

## 『ヘチとかいぶつ』

チョン・ハソプ・文 ハン・ビョンホ・絵 おおたけきよみ・訳//アートン//P-チ

この世ができて間もないとき、天に「ヘチ」という太陽の神がすんでいました。ヘチは、この世を太陽の光で照らし、するどいつのもつ正義のヒーロー。地の底には、この世でいちばん悪い、かいぶつ4きょうだいがすんでいました。ある日、ヘチにとって大切な太陽がぬすまれてしまいます。ヘチは、かいぶつたちに立ち向かい……。

「ヘチ」とは、韓国に古くから伝わるまぼろしの動物です。お話のさいごに、紹介されています。

## 『コーネリアス たってあるいたわにのはなし』

レオ=レオニ・作 谷川俊太郎・訳//好学社//P-レ



たまごがかえって、ちいさなわにの子どもがうまれました。その中に一匹だけ、立って歩いたわにがいました。コーネリアスはほかのわにとちがって、いろいろな景色が見えます。でも、ほかのわにたちはまったく相手にしてくれません。コーネリアスは怒って、出ていってしまいます……。その後、彼らになにが起こったかは、読んでからの楽しみ。

## 『森の診療所ものがたり カモの子がやってきた』

竹田津実・作 岡本順・絵//偕成社//91-タ

仁礼源三郎さんは、獣医です。奥さんのマサコさんと、まちの診療所ではたらきながら、ときどき外に出て、野生の生き物のこともみえています。

ある日、子どもたちが、生まれてまもない4羽のカルガモの子をつれてきました。

戸惑いながらも、親ガモが見つからないので、育てるしかありません。

子ガモをていねいに育て、自然にかえすまでをえがいた、あたたかいお話です。



## 『七人のシメオン』 田中友子・文 大畑いくの・絵//BL出版//P

むかし、はたらき者で顔も背丈もそっくりな七人きょうだいがいました。名前はみな「シメオン」と言い、彼らには、それぞれ得意なわざがありました。

ある日、王様が七人の畑を通りかかりました。王様は、彼らのわざに興味をもち、姫を遠い島からつれもどすよう、命令しました。七人は自分のわざを使い、姫をつれて帰ろうとしますが……。